

東女12月号

作品展では、多くのご家族の方においでいただき、ありがとうございました。

年少は、初めての作品展ということで、いつもと違う園の様子にそわそわしている子もいましたが、自分たちで作り、遊んできた世界をとて喜ぶ姿がありました。年中は、各クラスのお話の世界のイメージで十分に遊んできて、当日もいつもの姿で遊ぶ様子が見られました。年長は、自信をもって家族の方に自分の作品を紹介する姿が見られました。行事を1つ終える度、一人ひとりの内面が育ち、仲間と共に、日々充実して過ごす姿は、たのしく感じられます。

残り少ない充実の2学期、体調管理をしっかりして過ごしましょう。具合の悪い時は、無理をせず、ゆっくり休むことも大切です。



作品展では家族と共に各クラスのお話の世界を楽しみ、自分の作品を見てもらうことを喜ぶ嬉しそうな表情がたくさん見られました。

すみれ組は、おおきなニンジン家で作ったクッキーやケーキをリュックに入れてポートに乗ったり、たんぼぼ組は、ポップコーンやピザを持って汽車に乗り込んで遊びました。れんげ組は、恐竜にお肉やおにぎりを食べさせたり、赤ちゃん恐竜をお世話する姿も可愛かったです。子どものイメージを継続させるために、担任は毎日違う遊びを差し出しながら遊んできました。こうして年少はお話の中にすっぽり入って、友だちと共通のイメージの中でごっこ遊びをしたり作ったりすることが楽しいと感じるようになってきました。

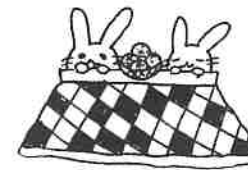
作品展後は「暗くて少し怖かったけどきれいだったよ。」「大きなサメがいたよ。」と他の学年の展示を先生や友だちと一緒に見に行きました。これからは各クラスで作った乗り物や恐竜などを外に出して新しいイメージの中で遊んでいきます。

活動を通して、友達と一緒に遊ぶことが楽しくなってきました。毎日表の園庭に出て遊ぶ時間を持っています。大きい遊具にもだいたい慣れてきました。寒い日が多くなり、しっぽ取りやかくれんぼ、ボール遊びなどをして、体を動かすと暖かくなることを知らせています。流行性の病気が増える時期です。手洗いやうがいを習慣づけるように意識して過ごしていきます。体調が悪い時は、無理せずにゆっくり体を休めましょう。

「新しい年を気持ちよく迎えよう。」「綺麗になるときもちいいね。」と友達と一緒に過ごした部屋やおもちゃをきれいにし片付けながら一年の終わりを知らせ新しい年を迎えることを知らせていきます。

今月の目標

- ・寒さに負けず、友だちと外で体を十分に動かして遊ぶ
- ・他クラスと交流しながら、イメージを広げて遊ぶ
- ・音遊びを通して、音で表現することを楽しむ



年中

各クラス、絵本のおはなしの世界を楽しみながら、先生や友だちと一緒に共通のイメージの中で遊んできました。自分のクラスだけでなく、他のクラスの様子を見に行ったり、遊びに行ったりしていました。「水道が噴水しました！おたすけこびと、出勤！」「モグラ建設です。壊れたところはどこですか？」「ジャングルの木の家に、船に乗って出かけよう」と、クラスを渡り歩いて遊んでいました。

自分たちで作った棒人形をとて気に入り、一緒にお話の世界に連れて行ったり、先生たちが見せてくれた人形劇から、「だるまさんがころんだしようよ」「ジャングルでかくれんぼしようよ」と、会話が広がります。人形を持つと、自分の思いを人形を通して伝えやすくなります。今まで話したことのない子とも話が出来、ごっこ遊びが始まっていきます。

作品展では、家族の方に見ていただき、「すごいね」と言ってもらえたことが自信になったようです。また、作品展の取り組みから、作ること・見立てることを楽しみ、自分のやってみたいことを形にしたり、先生や友だちと作り出そうという姿が育ってきました。作ったものに気持ちいをのせたり、使って遊ぶ楽しさも感じているようです。今後、空き箱等を使って、自由に遊びに必要なものを作り、仲間との関わりを更に深めて欲しいと思います。

外は寒くなってきましたが、年中の子どもたちは元気に外遊びを楽しんでいます。体操で取り組んだ鉄棒にも挑戦し、自分なりに目標を持ちながら、出来るようになる喜びを友だちと一緒に感じているようです。また、「木鬼」という鬼ごっこが始まりました。鬼にタッチされた人は木になってしまい、助けるには仲間が足の間を潜り抜けなければならないというゲームで、「助けてー」と声を掛け合いながら仲間と一緒に遊ぶ楽しさを味わっています。



今月のおやくそく

- ・うがい、手洗いをしっかりしましょう

今月の歌

年少組 あわてんぼうのサンタクロース お正月

年中組 ジングルベル おもちゃのチャチャチャ

年長組 サンタクロース 小さな世界



年長

作品展では、子どもたちが誇らしそうに仲間と共に作った続き話の本を家族に読んでいたり、案内する中で、「ここから入っていいよ」「ここはね、〇〇ちゃんが考えたんだよ」など、自分のことだけでなく、仲間の頑張りを紹介したりしている姿を見て、子どもたちが自信をもって作品展に向かって活動してきたことがわかりました。作品展後、他のクラスの子を招待したり、3クラスの作ったお話を見せ合ったり、カラーポリで作った、衣装を貸し借りして、学年でもあそびははじめました。仲間と共に作り上げたものでごっこ遊びをしながら、作る喜びから演じる喜びへと思いが繋がっていきます。

畑に植えた、はつか大根、小松菜、かぶが寒さに負けず大きく育ってきました。園庭のたくさんの葉っぱが色づき落ちてきます。どうして、木には葉っぱが落ちる木と、そうでない木があるのだろうかと思ったり、どうして寒くなると白い息が出るのかなど秋から冬への大きな自然の変化や不思議、疑問に思ったことに関心をもって調べています。

令和最初のお正月をまもなく迎えます。子どもたちと使ってきた保育室をきれいにしたり、どうしたら良い新年を迎えられるのか、考えたり、どうして大掃除をするのか考えたり、新しい年に気持ちよく神様を迎えるためなんだなど、日本人が大切にしてきた文化や伝統を知らせるきっかけにしています。

戸外でドッチボール、サッカーなど集団ゲームをしたり、鉄棒、雲梯、縄跳びなど友だちと競い合いながら取り組んだり、仲間とのつながりが楽しくて仕方がないという姿が見られます。3学期には、色々な楽器に触れて、皆で音を合わせる楽しさを感じながら、歌や合奏をしたり、遊戯、劇作りという新しい題材の中で、仲間と共同的に力を合わせて作り上げる経験に繋がっていきます。

